

# unlimited ~無限大~

1年B組 学級通信 NO.90

この文章は、平成27年1月31日(土)に開催される<第29回 尾張旭市青少年健全育成推進大会>の冊子に「僕の意見 私の考え」として掲載される予定です。まずは読んでみてください。

## 本当のやさしさ

名原 夕稀

「あの人、優しいそうだね。」

「結婚するなら優しい人がいいよね。」

よく会話で出てくる「やさしい」という言葉。

本来、とても素敵な言葉のはずです。でも、今は違った意味で使われている事が多いように思います。

例えば、宿題を忘れた友達が答えを見せてと言ったとします。答えを見せてあげれば、その子は「やさしい」と評価されるかもしれないけれど、忘れられた子のためになるかと言えばそうではなく、決して「やさしい」事をしたとは言えないでしょう。でも、もし断れば面倒臭い人だと評価される。そんな事が多いのではないのでしょうか。「やさしい」という言葉を、自分にとって都合が良い意味に変えて使ってしまったように思うのです。

六年生の時の担任の先生は、外見もとても優しいそう、本当の意味で優しい先生でした。自分達のクラスが一番になる。そんな風に、一致団結し、目立とつと色々頑張つて結果を残しても、先生はさほどほめてはくれませんでした。逆にクラスがまとまっていたために、強気になって、他のクラスの先生に生意気な態度をとっていた私達。きつと職員室では他の先生方から報告を受けていたでしょう。でも先生は笑顔で注意をする程度で、私達を頭ごなしに怒ることはしませんでした。いつでも誰にでも優しい先生に、もう少

し自分のクラスをひいきしてほしいと思った事もありました。

ある日、他のクラスの先生が、雑巾が余っていないか訪ねて来ました。私達のクラスは忘れ物ゼ口を目指して、新学期にみんなが持つて来た雑巾が沢山余っていたのです。でも、

「ありますよ。どうぞ。」

と渡す先生に、私達は文句を言いました。

「私達のクラスの物なのに・・・。」

そう騒ぐみんなに向かって、

「余っているんだから使つてもらおうよ。」

と先生は笑顔で言いました。

私はその時、納得出来ずにいました。

しかし、時間が経ち、冷静になった時、中学生

になって小学校を思い出した時、気付いたことがあります。自分に厳しく強くなければ人に優しく

出来ないという事です。イライラする日だってあるし、馬が合わない人だっているのに、私達の前に

いつでも笑顔でいる事はとても難しい事だと思えます。色々な気持ちを自分の中で消化して生徒に

は見せない。私が先生になったとしても、そんな事は出来ないと思います。自分の気持ちの波をそのまま出してしまいそうです。私だって、「困っているから助けてあげよう。」「私に何か出来る事はないかな。」そんな風に他人に優しくしようと思つ事が、ない訳ではありません。でも、無意識のうちに見返りを求めています。「貸してあげる。」「や

はありません。

自分の評価を下げないために人に優しくしたとしても、結果 相手が喜んでくれれば、それは「やさしさ」だと思つ人がいるかもしれません。

けれど私は、優しいという言葉、その言葉がもつ本来の意味で使つべきだと思います。優しいという言葉は「痩す」の形容詞で、身が痩せ細るような思いで行動する事なのだそうです。自分が痩せ細るほど他人のために行動出来る人は、一体何人いるのでしょうか。

自分にとって都合の良い人が優しい人ではありません。自分の身を守るために人を助ける事が「やさしさ」ではないのです。

たとえ自分にとって厳しい事だとしても本当の「やさしさ」を見極められる人になりたいです。そして、自分も優しい人にならなければいけないと思いま

した。自分の意見がしっかりあって、自分に厳しく、そして強く、思いやりや感謝の気持ちが必要ではないと思えます。沢山の努力が必要ですが、

「やさしさ」の本当の意味を知り、そうなるよう努力する事が大切だと思います。